

2018年度 公益財団法人広島YMCA事業報告書

(2018年4月1日～2019年3月31日)

1. 2018年度事業の概況

2018年度も公益財団法人広島YMCAの使命（目的）に立脚し、子どもから大人まで、幅広い世代の人々がボランティアによる地域貢献、奉仕活動、国際協力・交流活動を促進するとともに、当該活動の実践を通して心身の健全な成長と奉仕の精神を育み、人々が共に生きる平和な社会を築くことに、全力を挙げて取り組んだ。

特に2018年度は、7月に発災した西日本豪雨災害において広島県/広島市および広島の災害復興支援NGOと協力した活動を中心に、多くの支援活動を展開した。特に、広島市への支援物資の寄贈、安芸区のボランティアセンターへの人的派遣（看護師・事務系スタッフ）や安芸郡坂町への復興ボランティアの派遣等、復興を基軸にした支援活動や被災地の小学校を対象にしたリフレッシュキャンプの実施を行った。2019年度も西日本豪雨災害復興支援のための活動を行なう予定。また、継続の課題として、2013年に発災したフィリピン台風復興支援のフィリピンワークキャンプを実施した。

2. 2018年度事業活動

1) 平和教育活動・平和活動

広島の被爆体験を次世代に継承し、世界の紛争地域や被災地域の状況や支援の必要性を講座やセミナーを通して学ぶ事業を行った。

① 第40回国際青少年平和セミナーの実施

第40回国際青少年平和セミナーを8月4日～8日の間広島において実施。千葉、東京、横浜、京都、大阪、富山、広島、熊本、アメリカ、台湾、韓国、シンガポール等の12の国と地域から高校生・大学生・専門学校生など約85名が参加し、運営はボランティアリーダーによって行われた。被爆体験講座においては、広島県原爆被害者団体協議会より理事長の佐久間邦彦氏を講師に迎え、核兵器被害の実相を伝えることができた。

② 第14回平和の灯ろう流しの実施

8月6日に広島YMCAとしては14回目の「灯ろう流し」を、地域子ども達や家族・YMCA国際青少年平和セミナーの参加者、運営ボランティア等約250名により実施。アルメニアやパキスタンなど海外から寄せられた平和のメッセージ1500個を灯ろうにし、平和の願いと共に参加者の手で丁寧に元安川に流された。

③ 平和のための国際NGO・地域NPOとの協力プログラム

国際NGOとの協力

- ・「核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）」「ピースボート」などとの協力により、核兵器禁止条約制定の後押しをするための、共同行動（集会やイベント）を展開した。
- ・「核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）」のスタッフ（ティムライト/ダニエルホグスタ）やサーロー節子さんの講演会の実施サポートで核兵器廃絶にむけての啓蒙活動を行った。
- ・「核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）」国際運営委員・川崎哲氏の講演会と市民との意見交換会を行い、その事務局および記録担当として帯同を行い、SNS等を通し広く、広島県民の皆様に核兵器廃絶にむけての啓蒙活動を行った。

地域NPOとの協力

地域のNPOと協力して、戦争や核兵器のない平和な世界を目指す「ヒバクシャ国際署名」の署名活動を展開した。また、「ヒバクシャ国際署名広島県推進連絡会」の事務局として、推進連絡会のホームページ作成(電子署名の策定を含む)、広報業務など、事務局としての役割を担った。

2) 地域奉仕活動

YMCAの会員やボランティア・リーダーによる障がい者等の支援活動や、チャリティー活動により地域の福祉・奉仕プログラムを行った。広島県内の各種行事に会員・ボランティアと共に参加し、地域社会への貢献を行った。東日本大震災等災害支援の必要性を広島の地域に広め、災害支援・復興のための支援活動のコーディネート・ボランティア派遣を行った。

①チャリティーラン

個人や企業を対象に、障がいのある子ども達の支援のためのランニングイベントを開催し、参加費・協賛費を障がいのある子ども達の支援活動に充当した。

日程：11月23日（祝） 場所：広島中央公園 参加者：約412名 92チーム
運営ボランティア：約30名 協賛：34団体

②チャリティーバザー

福山・東広島で、ボランティアによるチャリティーバザーを実施し益金を障がい者支援や西日本豪雨災害・東日本大震災・熊本地震復興支援等に活用した。

③広島県内の各種行事への参加・協力

YMCA会員やボランティアメンバー・リーダーで「フラワーフェスティバル」・「原爆の子の像建立記念式典」・「戦争も核兵器もない平和な世界を市民の集い」・「市民平和行進」等の行事に参加し、地域の平和活動や国際活動に協力した。フラワーフェスティバルでは「よさこい」に加え、平和発信ブースを設け平和の折鶴を市民に呼びかけた。

④震災等支援活動（東日本・西日本豪雨災害その他）

ア) 広島県民に災害の状況をお知らせし、支援の必要性を訴え、募金活動を継続的に行った。

イ) 東日本大震災の広島県への避難者を対象にした「リフレッシュこどもキャンプ」を実施した。

日程 8/18（土）～21（火） 場所 広島YMCA雲月キャンプ場

ウ) 西日本豪雨災害復興支援活動として、広島市への支援物資の寄贈、安芸区ボランティアセンターへの看護師/運営スタッフの派遣、安芸郡坂町（小屋浦地区）への復興支援ボランティアの派遣等を行った。

エ) 西日本豪雨災害復興支援活動として、被災小学校の児童・保護者を対象にしたリフレッシュキャンプを実施した。

1回目 2018年10月27日（土）～28日（日）

参加：広島県内11の小学校からの児童（小1～小6）30名

場所：YMCAコンフォレスト湯来

2回目 2018年12月1日（土）～2日（日）

参加：安芸郡坂町内の2つの小学校の児童（小1～小6）69名

場所：YMCAコンフォレスト湯来

3回目 2019年1月19日（土）～20日（日）スキーキャンプ

参加：広島県内17の小学校からの児童（小1～小6）37名

場所：琴引フォレストパーク

4回目 2019年1月26日（土）～27日（日）

参加：広島県内の17家族52名＜児童（小1～小6）28名、保護者：24名＞

内容：親子で雪あそび・スノーシューハイク・アイスクリーム作りなど

場所：県立もみのき森林公園

参加者合計：188名 ＜児童（小1～小6）164名、保護者24名＞

【協力】◆ワールドビジョン・ジャパンより寄附

◆ワイズメンズクラブ国際協会西日本区西中国部より寄付と人的支援

◆ワイズメンズクラブ台湾区より

オ) NPO団体と連携し震災復興支援のための追悼の集いを広島で行った。

「3.11東日本大震災を忘れない追悼の集い広島集会」

日程：3月11日 場所：平和記念公園・元安川親水テラス 参加者：約500名

運営ボランティア：約120名

カ) 西日本豪雨災害復興支援の一環として、被災者のファミリーや被災地を支援している地方公共団体やNPOのスタッフを対象にした「心のケア講座」～こどもといっしょに～を開催した。講師のニキハーティーホスピタル理事長で精神科医師でもある仁木啓介氏に心の反応の仕組みを学び、教育財団優愛/ブレインジム理事長の今道久恵先生に、実際に体を動かしながら心のケアの仕方を実践的に学んだ。

日程 12/15（土）～16（日） 場所 広島YMCA

⑤ YMCAクリスマス・チャリティーコンサート

NPO団体や広島女学院大学と連携し、YMCAクリスマスを行った。参加者に被災地に贈るクリスマスリースづくりと募金を呼びかけた。

日程：12月2日 場所：広島YMCA 参加者：約90名

⑥ いじめに反対するピンクシャツデーの実施

2月27日、ピンクシャツやピンクの小物を身につけて「いじめ反対」のアピールを行った。

2018年度は150件の写真・いじめ反対のメッセージが届くようになり活動は拡大した。

参加者 スタッフ148名 会員478名 他団体42名

3) 国際交流活動

YMCAの持つ国際的なネットワークを活用し、国際交流・国際理解を促進し、合わせて海外からの来広者に対し被爆地広島の体験を広く伝えた。

① 第58回 Let's Get Together ユースのホノルル受入

7月25日～8月8日の2週間の期間で行われ、ハワイ・ホノルルYMCAから16名のユース・2名のスタッフを受け入れた。平和学習・異文化交流・野外活動などを通して、ホノルルYMCAのユースとキャンプやホームステイを通して交流を図った。

② ハノーバー国際交流イベント

2018年5月10日 ドイツ・ハノーバーYMCAのアベンセンキャンプ場にて、被曝樹木の植樹祭が行なわれた。この被曝樹木は、2018年1月に広島YMCAの理事長・総主事がハノーバーを訪れた際に手渡されたもので、300名のゲストを迎えキャンプ場のメインロッジの前に植樹が行われた。

4) 国際協力活動

世界で起きる自然災害や国際的な紛争地域への人道支援の必要性、開発途上国や地域への支援の必要性を広く訴え、日本YMCA同盟や世界のYMCAのネットワークを通じて支援を行った。

①国際協力キャンペーン

世界で起きる自然災害や国際的な紛争地域への人道支援の必要性、開発途上国や地域への支援の必要性を広く訴えキャンペーンを行い、広島市・福山市・東広島市等でボランティアによる街頭募金を行った。広島県民から寄せられた善意は、日本YMCA同盟等を通じて、難民支援・被災地支援に活用される。

2018年度国際協力募金額：1,873,859円 募金ボランティア：約400名

②広島・フィリピンワークキャンプ

台風30号の被害にあったセブ島を広島の青少年・学生が訪問し、現地の青少年と相互理解を深めながらボランティアとしてワーク活動を行った。

日程：3月14日～28日 参加者：7名 引率ボランティア：2名

5) ボランティア・リーダー育成活動

本法人の会員や市民にボランティアの機会を提供し、様々な活動を通してボランティアの育成を図った。また、日本YMCA同盟等が行うリーダー育成事業・ボランティア育成事業に参加する機会を設け支援を行った。

◆西日本YMCAリーダー研修会

日程：5月3日～5日 場所：福岡県立英彦山青年の家 ユースリーダー1名 スタッフ1名を派遣

◆YMCA世界大会 チェンジェージェント派遣

日程：7月9日～7月 日 場所：タイ/チェンマイ

大会5日目の朝、ディボーションの時間に西日本豪雨災害で被害に遭われた方々を思い、広島YMCAからチェンジ・エージェントとして参加しているユースが被災状況を伝え、祈りを導いた。

◆地球市民育成プロジェクト

日程：8月29日～9月4日 場所：御殿場 YMCA東山荘

「地球市民育成プロジェクト」が静岡県御殿場で開催され、広島YMCAからはユーススタッフ2名と指導のためのチューター1名を派遣した。半年間のアクションプランの企画・実践を行い、3月末、日本YMCA同盟において地球市民の修了認証を受けた。

◆全国YMCAリーダー研修会

日程：10月6日～8日 場所：山形蔵王 ドック沼 主管：仙台YMCA

ユースリーダー1名 スタッフ1名を派遣

3. 法人運営

法令・定款を遵守し情報公開に努めるとともに、小規模であっても安定した法人運営に努めた。学校法人広島YMCA学園職員等のボランティアスタッフにより、経理等基幹業務も安定的に進めることができた。

1) 役員に関する事項

役職名	氏名	就任年月日	現職	備考
理事長	殿納 隆義	2018年6月13日	広島YMCA総主事	
理事	川口 博正	2012年9月3日		2018/6/13 重任
理事	中原 俊輔	2018年6月13日		
監事	榎並 毅	2012年9月3日	(株)大創産業社外取締役	2016/5/25 重任

2) 評議員に関する事項

役職名	氏名	就任年月日	現職	備考
評議員会議長	桑田 隆明	2012年9月3日		2016/5/25 重任
評議員	松井 敏	2012年9月3日	(株)広重社長	2016/5/25 重任
評議員	今石 正人	2016年5月25日		

3) 役員会等に関する事項

ア 役員会

開催年月日	出席者数	議事内容	会議の結果
2018年5月23日	3人	2017年度決算・事業報告 2017年度理事長業務執行状況報告 理事候補推薦 評議員会招集の決定	可決 可決 可決 可決
2018年6月13日	4人	理事長互選	可決
2019年3月19日	4人	2018年度補正予算 2019年度予算・事業計画 2018年度理事長業務執行状況報告 評議員会招集の決定	可決 可決 可決 可決

イ 評議員会

開催年月日	出席者数	議事内容	会議の結果
2018年6月13日	3人	2017年度決算・事業報告 2017年度理事長業務執行状況報告 理事選任の件	可決 可決 可決
2019年3月27日	3人	2018年度補正予算 2019年度予算・事業計画 2018年度理事長業務執行状況報告	可決 可決 可決

4) 行政庁への申請・届出事項の状況

- 2018年6月25日 2017年度事業報告提出
- 2018年6月25日 理事変更届提出
- 2019年2月5日 公益目的事業変更届提出
- 2019年3月28日 2019年度事業計画提出

5) 事業報告附属明細書

2018年度事業報告においては、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条に定める「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当するものはない。

以 上